

老人福祉センター のご案内

六月六日から七月五日までの利用日程はつぎのとおりです。
老人福祉センターは、市内に住む六〇歳以上のお年寄りが健康の増進、はりのある生活を送るためのレクリエーションの場として、また老人の趣味のグループ活動等老人のしあわせの里づくりの場と



して活用されております。
使用時間は、午前十時から午後四時までです。
なお、自由利用を希望される方は使用期日七日前までに必ず申し込み手続きをしてください。
六月下旬に、ボイラー施設整備のため約三日間センターの休館となりますので、当該利用クラブは七月七日・八日・十日に変更いたしますので、ご了承ください。

日 程 表

月 日	曜 日	地 区
6. 7	日	横 町
6. 9	火	与 縄
6. 10	水	羽根子・鷹ノ巣
6. 11	木	趣味のグループ活動
6. 12	金	十日市場
6. 14	日	趣味のグループ活動
6. 16	火	古川渡
6. 17	水	井倉・九鬼・川茂
6. 18	木	趣味のグループ活動
6. 19	金	老人大学
6. 21	日	早馬町
6. 23	火	曾雌・神門
6. 24	水	鶴声会研修会

6. 25	木	小 野
6. 26	金	田町・寿町
6. 28	日	趣味のグループ活動
6. 30	火	鶴声会研修会
7. 1	水	田 原
7. 2	木	趣味のグループ活動
7. 3	金	新 井
7. 5	日	自由利用

第四回「詩の講演」開催

詩に親しむ日々の積重ねは 健全な精神の醸成につながる

都留詩友会では、昭和五十六年度の事業として、詩の講演会をつぎのとおり実施します。
講師の吉野弘さんは、中学や高校の教科書にも掲載され、多くの方々に親しまれている詩人です。またとない機会ですので、ぜひ多くの方々にお聞きして頂きたい

合同開級式

昭和五十六年度中に公民館において実施する、すべての学級・教室の開級式です。学級、教室等に参加していない人でも自由に参加できます。ご来場をお待ちいたします。
なお当日記念講演も実施します。

日時 六月六日(土)
午後一時三〇分

会場 文化会館(四階大ホール)
講師 お茶の水女子大学
文教教育学部教授
外山滋比古先生

演題 「言葉と心」

五月の購入図書

五月に購入した図書は、つぎのとおりです。皆様のご利用をお待ちしております。

情報活用法 前園主計
自分主義 羽仁 進

と思います。

演題 「私の詩作体験など」

講師 詩人 吉野 弘

日時 六月六日(土) 午後二時

会場 文化会館三階ホール

主催 都留詩友会

後援 都留市文化協会

聖書の天地

人事興信録 第三十一版

パリ随想 三

アメリカ東西南北

開かれた政府を

朝日新聞情報公開取材班編

愛して学んで仕事して 佐藤綾子

この愛いつまでも 加山雄三

日本歳事辞典 儀礼文化研究所編

暗号の天才 クラーク

あなたの年金プラン 村上清(共)著

ぼくら敗者復活戦 高安正平

日本ダニ類図鑑 江原昭三編

ガン 50人の勇気 柳田邦男

左利きの本 ブリス(共)著

花粉とアレルギー ノックス

刺し子百葉 吉田典子

住宅の設計と施行の知識 高田秀三編著

評判のよいおかず NHK編

全国民宿ガイド 一九八一年版

実業之日本社編

音楽 小沢征爾対談

染織曼茶羅 沢田ふじ子

法隆寺 西岡常(共)著

テニスを楽しむ 岡田 瑛

組紐を設計する 藤田昌三郎

朝礼の話のタネ300例 中村昌男

冬の雁 三浦哲郎

超人探偵 小林信彦

人間万事塞翁が丙午 青島幸男

虚人たち 筒井康隆

父が消えた 尾辻克彦

作家の手帖 松本清張

男ざかりの美学 桐島洋子

歴史のなかの愛 田中澄江

窓ぎわのトットちゃん 黒柳徹子

地球から来た男 星 新一

麗しき白骨 渡辺淳一

風の武士 上・下巻 司馬遼太郎

いつのまにか晴れた空 見延典子

外一二冊

児童図書 マリア・グリーペ

夜のババ 山下明生

へんてこ島がありました 李 錦玉

さんねん峠 神沢利子

はらぺこおなべ 山中 恒

ぼくがぼくであること 灰谷健次郎

ひとりぼっちの動物園 灰谷健次郎

児童詩集 たいようのおなら

学習ことわざ辞典 灰谷健次郎

むさし書房編集部編

外五十五冊

一般図書 一五二冊

児童図書 六十二冊

計 二一五冊